校長講話　　１０月５日(火)　全校朝会(１０月)

衆知を集める

みなさん、おはようございます。

緊急事態宣言も解除され、今日からは時間割通りの授業を再開します。
午後も先生や友達と一緒に生活、学習を進めることができます。
ようやくオンライン授業にも慣れてきたところではありますが、自分の力を伸ばすため、仲間とよりよい生活を送るため、頑張っていきましょうね。

ところで、皆さんは「松下幸之助」という人を知っていますか？
では、「パナソニック」は知っていますか？
そうです。テレビや冷蔵庫、エアコンや洗濯機、携帯電話など、たくさんの電化製品をつくっている日本を代表する、世界的な大企業です。
松下幸之助さんは、そのパナソニックをつくった人です。
松下さんは、４歳の時、父親が事業に失敗し、土地と家の財産をすべて失ってしまったそうです。
そのため、小学校４年生の時に学校をやめ、家族と離れて、たった一人で和歌山から大阪に「住み込み」で働きに出なければならなかったそうです。
仕事は大変に厳しかったそうです。
ですが、一生懸命に仕事に励み、他の人よりも早く仕事を覚え、技術を身に付けていったそうです。
そうして、23 歳の時にパナソニックの始まりとなる「松下電気器具製作所」という小さな自分の工場を作ることができたそうです。
松下幸之助さんは、小学校を４年生でやめてから、学校で勉強を学んでいないのです。もちろん、中学校にも行っていません。
では、どうして、大きな会社を作り、発展させることができたのでしょう。
松下さんは、学校で学べなかったことを仕事の中で学び、能力を身に付けていったのですね。
その松下幸之助さんは、「一人より二人、二人より三人、できるだけ多くの人から、できるだけ多くの話を聞こう」と言っています。
難しい言葉で「衆知を集める」と言います。
私たちは、ついつい自分の考えが一番いいと思ったり、他の人の考えより自分の考えの方が正しいと思ったりしがちです。
自分の意見や考えに自信をもつことはよいことですが、友達の意見や考えを聞かずに自分の考えを押し通すのは、決してよくはありません。
十二月田小では、隣の友達やグループで考えを聞き合い、出し合い、学級全体で考えを広げたり、深め合ったりしています。
これは正に「衆知を集め」て、よりよい考え、解決方法を見つけ出そうとしていることです。
お互いの考えを集めて、今よりもっともっとよいクラス。学校にしていきましょう。

本日の全校朝会(オンライン)で、子供たちに話した内容です。

本日より通常授業を再開いたしました。この１か月間、午後のオンライン授業実施につきましては、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。

オンライン授業につきましては、「子供たちの学びを止めない」「身に付けた力を失わせない」ために、新たなスタイルへの挑戦となりました。上手くいかないところもございましたが、一つずつ解決策を検討してまいります。

現在学校では、子供たちが「主体的」「対話的」な活動を通して「深い学び」ができるよう創意、工夫改善を行っております。

昨年度から、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの「対話的」な学びについては、苦慮しているところです。

しわすだっ子には、現状について、不平・不満を言ったり、諦めて何もしない、ということではなく、仲間とよりよい方向へ向かうよう、お互いの考え(英知)を聞き合うことの大切さを伝えたく、話をしました。

友達一人一人の考えを聞き合うことは、その考えがどうであれ、その友達を大切にすることにつながると考えております。

そのような活動、経験を数多く仕組むことで、人は仲間とつながることで、自分だけでは解決できない問題(課題)を解決していけること。よりより生活や、集団をつくっていけることを実感させたいものです。今後も、ご理解ご協力をお願いいたします。

校長　　石井　宏明